



▲自信をもって相手に話す



▲発表の一コマ

教材と時間数	説明文 (六時間) 「私の読んだ本」 (六千字)	スピーチ (八時間) 「私のおすすめの本」 (約2分)
	1 2 1 2	1 4 1 1 1
授業内容	(夏季休業中の課題として、各自読書感想文を書く) ①原稿用紙の使い方の確認と推敲。(相互批評し合う) ②アウトライン表作成。 ③作文の実際。 ④推敲後提出する。 ⑤文集を作成する。	①メモの取り方の学習 テープを聴き、メモを取る。 ②良いスピーチとは何か。 ビデオを見て考える。 ③説明文をもとに、スピーチの草稿を作る。 ④リハーサルと実施。 ⑤評価のまとめと反省。
指導のポイント	(スピーチの授業で使うことを予告) ・原稿用紙の正確な使用方法の理解と習得。 ・論理的な文章構成の理解。	・聴き方・批評の仕方の習得。 ・プレゼンテーション技術の確認。 ・発言形式の型と原稿に頼らない話し方の工夫。 ・話す際の礼儀の習得。 ・友人評を受けてよりよいものにする工夫。
留意点	・他の人に読んでもらい、分かりにくかったところを直す。 ・書けない生徒には、書き出しの言葉を示していく。	・効果的な話し方について、実践的に考えさせる。 ・発言の際のきっかけになる言葉についてアドバイスを。 ・書物や、書物の中の写真や挿絵を見せながら説明させる。 ・エピソードを紹介させる。 ・読み聞かせの方法。 ・読書へのきっかけとなるような配慮をする。